

史跡横須賀城跡三の丸の発掘調査成果について

1. 史跡横須賀城跡整備事業について

国史跡に指定された昭和56年度より、発掘調査、整備事業を進めており、平成25年度までに本丸、西の丸、櫓門、三日月池、北の丸、松尾山の整備が完了しています。

史跡横須賀城跡整備事業をさらに進めるため、令和5、6年度には、横須賀城跡の保存管理、活用、整備、運営・体制の方針と方法を示した『史跡横須賀城跡保存活用計画』を策定しました。

また、令和7年度は、史跡横須賀城跡整備委員会の小和田哲男委員長を始めとする有識者・地元代表者、地元有識者のご意見を踏まえつつ、三の丸跡周辺の整備内容を具体的に示した『史跡横須賀城跡整備基本計画』の策定を進めています。

2. 史跡横須賀城跡三の丸の発掘調査について

史跡横須賀城跡三の丸周辺の整備事業を進めるに当たって、整備内容の検討に必要な資料収集を行うため、令和3年度から継続的に発掘調査を実施しています。

今年度は、12月1日（月）から発掘調査を開始し、牛池、東外堀、南外堀の位置を確認するために調査区を設定したところ、横須賀城跡の南東隅に当たる東外堀、南外堀隅角部の石垣（2025-4トレンチ）、南外堀の石垣（2025-3トレンチ）が確認されました。

出土した瓦などから、嘉永7（1854）年に発生した安政東海大地震で倒壊した石垣を地震後に築き直したと考えられます。

横須賀城跡の石垣は、全国的にもほぼ例のない玉石（＝丸い石）を用いた石垣であり、かつ横須賀城跡三の丸の構造を検討する上でも貴重な発見となりました。今回の発掘調査成果は、史跡保存のための資料として活用するほか、三の丸跡の整備内容を具体化させるために活用します。

3. 発掘調査報告会の実施について

遺跡を保存する観点から12月22日、23日に調査区の埋め戻しを行ったため、現地で横須賀城跡の遺構を見ていただくことは出来ません。ただ、史跡横須賀城跡三の丸の発掘調査成果をより多くの方に知っていただければと考えているため、令和8年3月15日（日）午後に大須賀支所で発掘調査報告会を実施します。

調査報告会の申し込み方法等については、市HPや広報かけがわ2月号に掲載する予定です。

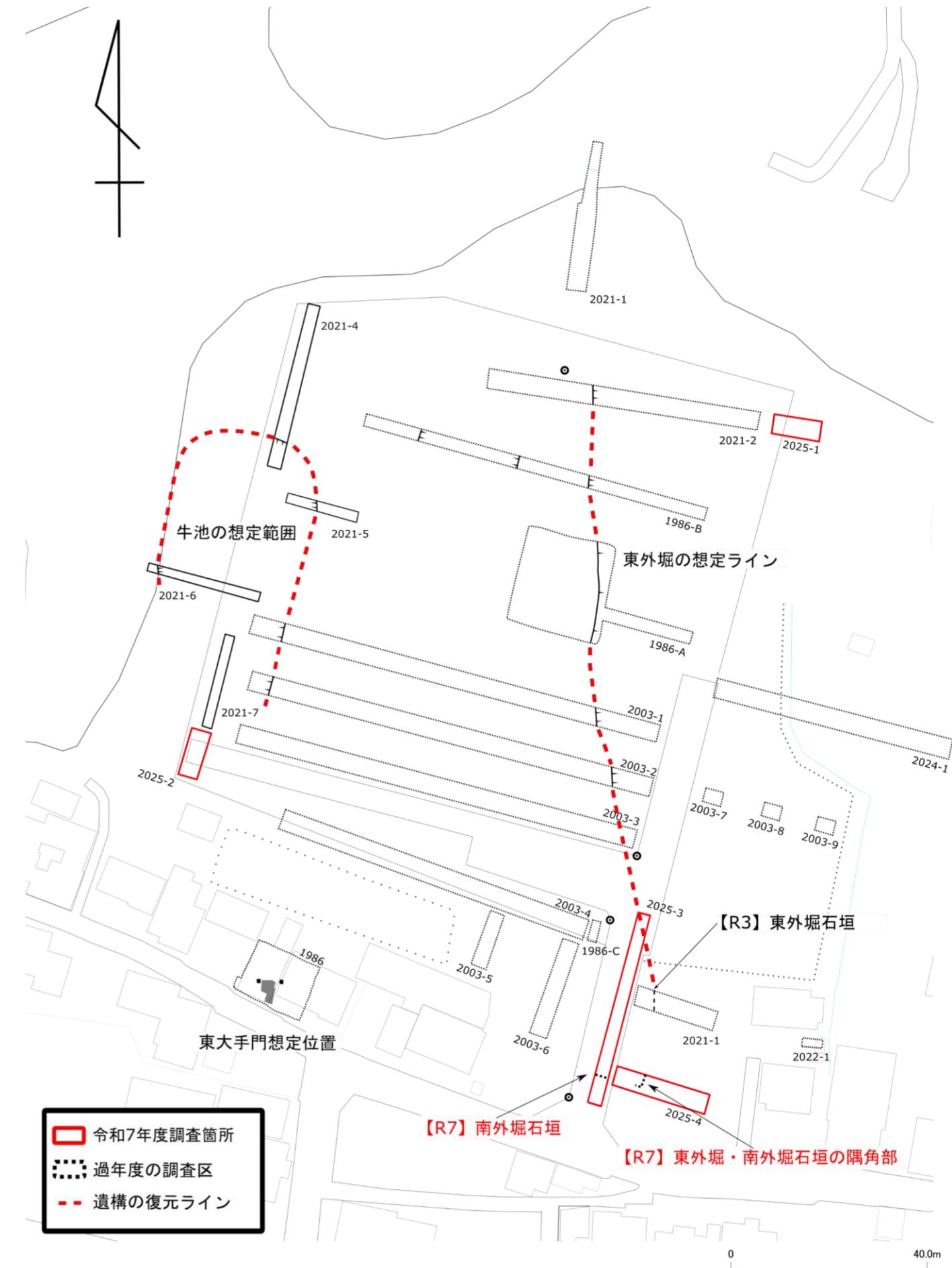


図1 史跡横須賀城跡三の丸発掘調査地点図



2025-4 トレンチ 横須賀城跡東外堀、南外堀隅角部の石垣（東から）



2025-3 トレンチ 横須賀城跡南外堀の石垣

図2 遠州横須賀城図（三の丸部分をトリミングし拡大）【国立国会図書館蔵】